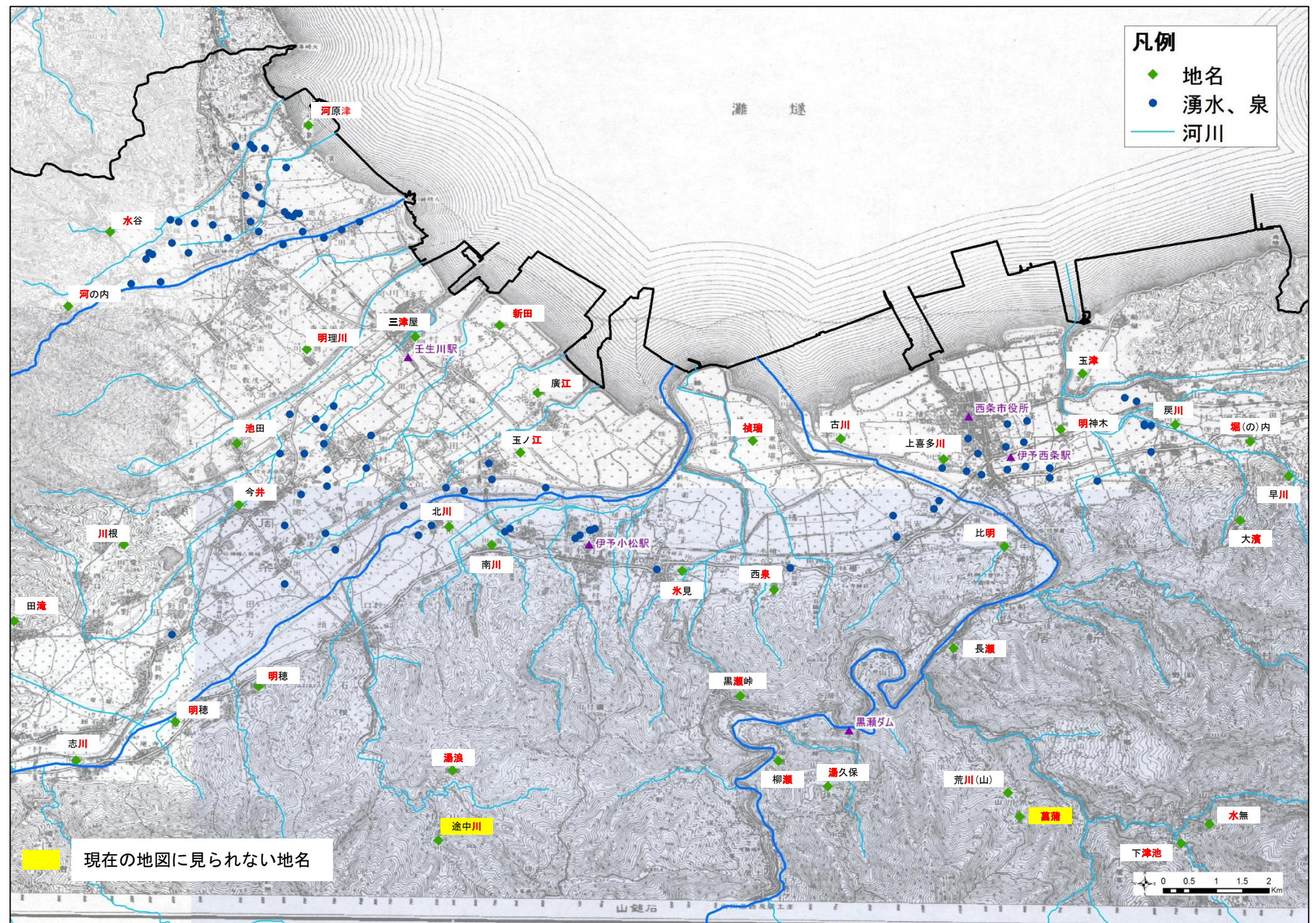


図⑭：「地名にみる」水と西条の関わり（約80年前（1933（昭8）年）当時の地図から）

- ・豊かな自然に囲まれ起伏に富む地形をもつ我が国には様々な地名があります
- ・地名は昔の暮らしの営みを伝える重要な意味をもっていると考えられます
- ・柳田國男全集等の資料を元に、昭和8年の5万分の1地形図と平成28年の地理院地図から西条地区における地下水や水に関わりのある地名を抽出しました
- ・昭和8年の地図にあるが、平成28年度の地図に見られない地名は、「菖蒲」と「途中川」です
- ・昭和8年の地図になく、平成28年度の地図に見られる地名には「泉町」や「湯の谷」などがあります



※地図の縮尺の違いにより、地名が表示されていない可能性もあります

※「途中川」は昭和25年の地図には「途中ノ川」として記載があります

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平28情複、第1514号）」

凡例名	データ名/資料名	データ/資料入手先
地名S8	5万分の1地形図 昭和8年度	国土地理院
河川	国土数値地図 河川	国土交通省国土政策局国土情報課
行政界	国土数値地図 行政区域	国土交通省国土政策局国土情報課

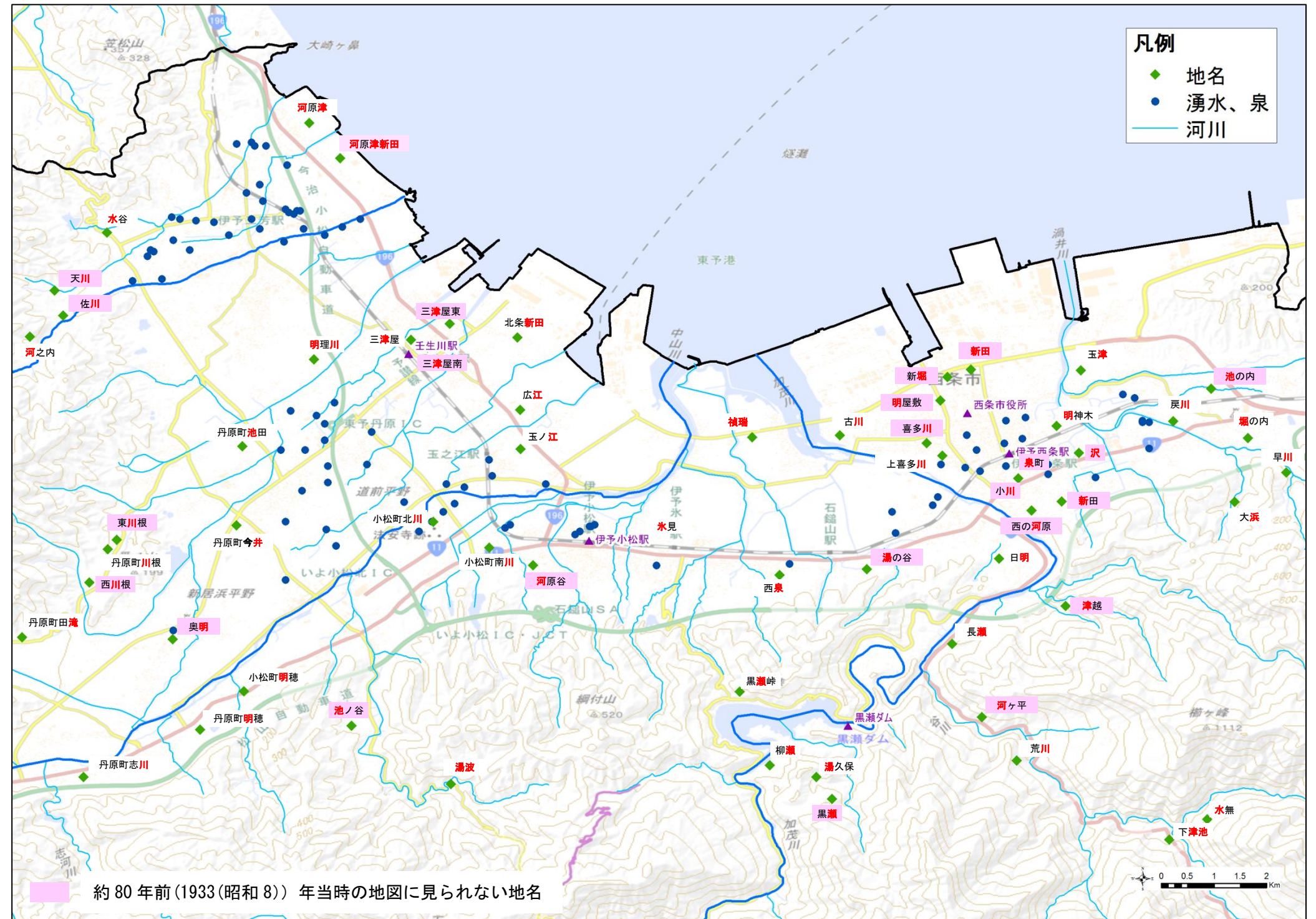
△注意！ 必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも読図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。

図⑮：「地名にみる」水と西条の関わり（現在の地図から）

区分	地名に含まれる漢字	漢字が有する意味
A	井	水が湧き出る意
	池	湖沼より小さい、地面にできたくぼみに水のたまったところ
	泉	地下水が自然に地表に湧き出る所また、その湧き出た水、湧泉
	川	地表面に落下した雨や雪などの天水を集めて海や湖に注ぐ水路と、その上を流れる水の総称
	河	大きな川
	江	川などの流れが浅く歩いて渡れる所海や湖沼の陸地に入り込んでいる所入り江
	瀬	古くは、広く海・川・堀なども指したあさせ
	氷	水が固体状態になったもの
	沢	浅く水がたまり、草が生えている湿地
	滝	懸崖からほぼ垂直方向に落下する水の流れ
	津	船が停泊するところまた、渡船場、船着場、港
	浜	海・湖などの水際に沿った平地(浜辺)
	水	水、または水のあるところ
B	湯、浪	湯が湧き出る波
	堀	土地を掘って作った水路
	菖蒲	細い水路や沢、田、沼などを意味する湿地(古くは水のことを「あか」と言った)
	明	湿地(古くは水のことを「あか」と言った)
	新田	湿地(古い湿地が新たに水田として開墾された)
	禎瑞(ていずい)	清水が湧き出し「天より嘉瑞を降し給うなり」と喜び付けられた地名

資料：柳田國男全集およびホームページ（方言と地名の魔力、フカペディア、weblib 辞書）

区分：
A = 水と直接に関係する文字など
B = 水に関連する可能性のある古語など



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平 28 情複、第 1514 号）」

凡例名	データ名/資料名	データ/資料入手先
地名H28	地理院地図 H28年度	国土地理院
河川	国土数値地図 河川	国土交通省国土政策局国土情報課
行政界	国土数値地図 行政区域	国土交通省国土政策局国土情報課